

# 青木村子どもはつらつネットワーク通信

令和7年度 第242号 1月1日

青木村子どもはつらつネットワーク事務局発行

## 子育てフォーラム青木2025

社会力にもつながるわたしの歩き方

～青木の村を元気に歩こう！青木の魅力再発見～



保小中一貫教育委員会事務局  
米山 忍（青木小学校教頭）

今年度は、あおきっ子教育ポイント5か条の第1条一日のスタートにある「元気に歩いて学校へ」に着目しました。登下校のみでは、家庭の事情、昨今の交通事情や地域の事情で歩くことができない子どもたちもいるので、登下校に限らず学校生活や家庭生活で「歩く」活動を取り入れたらどうかと考え、歩くことをテーマに保小中一貫教育を進めてきました。その提案を受けて、今年度は保育園の年長と小学校1年生が例年よりも交流する機会を増やし地域の散歩を計画し行っています。5か条委員会でも、親子のふれあいについてどんなことをしているかのアンケートを実施し、親子で一緒にジョギングしたり歩いたりしていた例も紹介していただきました。



また、今年度は後半の分科会もフォーラム委員のみなさんの意見を取り入れ、体験講座にしてみました。講演会で学んだ歩き方で村内を歩きながら推しフォトを撮って、撮った写真をみんなで鑑賞し合う活動を考えてみました。

このようなことから、今年のテーマを、フォーラム委員を中心に考え『社会力にもつながるわたしの歩き方～青木の村を元気に歩こう！青木の魅力再発見～』として11月29日に開催しました。

当日は、講演会、体験講座、展示発表（保小連携委員会、子育て委員会、フォーラム委員会の動画、5か条委員会の通信掲示）を行いました。講演会では丸山夫妻に未来が変わるような歩き方を教えていただき、体験講座では参加した皆さんの思いが伝わるような素敵な写真の鑑賞会もでき、家庭・学校・地域で青木村の教育について考えるよい機会となりました。

以下、当日の様子について、お知らせします。

### 1 開会行事について

まず、開会30分前より一階のフロアにて、保育園と小学校、中学校の活動の様子を見ていただく映像が流れ、受付を済ませた多くの方が足を止め映像を見つめる姿がありました。それぞれの活動の様子を知ってもらうことができました。

開会行事では、杵掛教育長に開会を伝えるあいさつをいただき、子育てフォーラムが始まりました。



## 2 講演会について



ポジ◎ラボの丸山亜希さん、勇人さんご夫婦をお招きし、「歩く習慣が未来をかえる！～青木村を散策しよう～」と題し、ご講演をいただきました。

講演会の前半は、亜希さんにウォーキングの有効性についてお話いただきました。「日本一歩き方が美しいのは誰か」を競う歩き方のコンテストがあること。そのコンテストに出るために、歩く練習を続ける中で、うまく笑えないと泣いていた人



が徐々に自信をつけていき人生が変わった話など、ウォーキングによ

って人は変わることができ、それは大人であっても子どもでも変われるということを知ることができました。また、正しくウォーキングをすることで、ドーパミンやセロトニンが分泌され、肩こりや腰痛の改善にもなり、ダイエット効果や筋力アップにもつながるという話もありました。ウォーキング講師の勇人さんも、球技などの運動は苦手だそうです。ウォーキングでスタイルを維持しているそうです。講演会後半は、勇人さんに実際に正しい歩き方や座り方の実演をしてい



ただきながら、いろいろなポイント、コツを教えてくださいました。最後の参加者同士で歩きながらハイタッチをする場面では、みんなの表情が自然と笑顔になっていました。笑顔で活動していて、とても楽しい時間だったことが、その表情からも伝わってきました。



- ・丸山夫妻のウォーキング講習がとても楽しい時間であったという間に感じました。
- ・丸山さんご夫婦のお話をお聞きし、歩くことで気持ちや表情が変化することを知り、そして何よりも2000歩でダイエット効果も！ぜひ、月曜から取り入れてみたいと思いました。また、子どもたちにも下ではなく、前を向いて歩けるように一緒にお散歩したいと思います。実践が多かったのしかったです。
- ・今まで無意識に歩いていましたが、今日の講演で教えていただいたことを意識して歩いてみたいと思いました。心と身体の健康はどの世代の方々にとっても関心のある内容なので来年も実技など盛り込んだ参加しやすい講演だといいかと思います。本日はありがとうございました。
- ・歩き方講座、もともと姿勢が悪いことが悩みだったので、必要感を持って取り組みました。また、何より、実践してみると楽しかったです。一日一回、音楽室で試してみます。来年も体験型の講座がいいです。
- ・歩き方の大切さが分かりました。歩き方でポジティブになれるということと、ポジティブな思考になることが日常生活の中で大事なんだと改めて感じました。これからは活かしていきたいと思いました。

・「歩く」がこんなに疲れるとは...今まで意識していなかった事が分かりました。仕事が対外的な対応が多いので、印象のあたえ方がとても参考になりました。

・参加者同士のコミュニケーションが取れるタイプの体験型で、大変楽しく学ぶことができました。

・姿勢の大切さと美しい歩き方を、楽しく学ぶ事ができ、良かったです。写真の楽しみ方を知ることができました。



(参加者の感想より)

### 3 映像・展示発表・おもてなしについて

1階ロビーには、子育て委員会や保小連携委員会、5か条委員会による今年度の活動内容をまとめた展示発表がありました。地域の方との関わりの姿や保育園と小学校の交流の様子、また5か条委員会がアンケートによって保護者の皆様から回答いただいた「子どもたちとのふれあい」についての通信など、今年度のテーマにそった温かな雰囲気での展示がたくさん並んでいました。

また、2階講堂入り口には小中PTA役員の方々によるおもてなしのコーナーもありました。保小中の子どもたちの元気に活動する様子を見ていただくことができました。



### 4 体験講座について



今年度は講演会で学んだ歩き方を生かして「青木村を歩いて推しフォトを撮ろう」を開催しました。まず村内写真家の丸田 平さんから推しフォトを撮るコツを伝授していただきました。被写体の入れ方や画角などのテクニックもありますが、どんな思いでその写真を撮ったのか、また撮影した人が満足する写真がベストショットであることも教わりました。その後、参加者の皆様と思い思いの場所に、推しフォトを

撮りに出かけました。雲一つない晴天にも恵まれ、学んだ歩き方で気持ちのよい時間を過ごす事ができました。体験講座後半は、参加者の皆様が撮影した写真をスクリーンに映しながら、撮った写真に対する思いを語ってもらったり、丸田さんに写真の良さを解説してもらったりしました。短い

時間ではありましたが、参加者のみなさんの個性あふれる素敵な写真を感じるひとときとなりました。

- ・体験型の講座を設定していただき、大変有意義であった。推しフォトのような、互いを理解したり、青木村の良さを発見できるものは良いと思いました。
- ・推しフォトでは写真の画角のコツ等も知ることができて良かったです。
- ・推しフォトを撮ろうということで、文化会館の周りを散策しました。このような機会では絶対に見ることで見えない景色を見ることができました。身近にあるいろいろなものをよく見るということ、これからもやっていきたいと思います。貴重な時間をありがとうございました。丸田さんからの解説も良かったです。全員が送った写真を大きな画面で見たかったです。ありがとうございました。

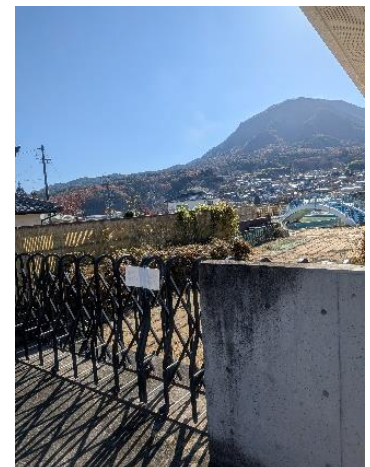
そして、写真が残る事で、その時の思いと出来事を振り返る事が  
できると思いま  
(感想より)



推しフォト写真のご紹介（広報あおき 12月号のフォト de あおきにも掲載しています）









最後に

今年の「子育てフォーラムあおき」を通して、保育園や小中学校そして青木村の子育てに関わるみなさんが集まり、一緒に何かを体験するということが大切な機会だと感じました。休日ということもあり、参加者はこれ以上は集まりにくいかもしれませんが、情報電話サービスを活用したり感想にもあるように直前に保護者向けに開催のお知らせをしたりして、多くの方に参加していただけるよう取り組んでいきます。また、参加された皆様に参加して良かったことを口コミで広めていただけると参加者もこれまで以上に増えると思いますのでご協力をお願いいたします。今回は歩き方の実技講習もあったので、親子で参加していただいた方もいました。親子で参加できるような内容にしていくことも、参加者を増やす方法かもしれません。多くの皆様と青木村の子育てについて一緒に考えていきたいと思えます。

今後も子どもを真ん中に、保小中が連携をとりながら「ふるさと青木村を愛する子ども」を育てていきたいと考えております。保護者、地域の皆様のご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。



・前半後半に分かれていたのもメリハリがあり良かったと思います。半日というのも気軽に参加しやすかったです。運営の皆様、ありがとうございました。前もっていろいろとお知らせはいただいていたのですが、前日に学校から届いた連絡システムのご案内が参加に至った直接のきっかけでした。来年度も、同様にお知らせがあると良いかもしれません。

(感想より)

## 編)集)後)記)

あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしく願いいたします。

今月号から2回に渡り、昨年行われた「子育てフォーラム2025」の内容を特集いたします。来月号では、子育て委員会と保小連携委員会の展示発表の様子をお伝えします。

